

12. 大麻などの薬物

<有害情報を得たときの状況>

公園の草刈り中、植え込みの落ち葉の下からビニール袋があったので中を確認した所、ポーチが入っていましたので、あけて見ると注射器、薬物等があったので即110番通報致しました（注射器100本、覚せい剤パケ（小袋）100位、大麻草？）。

<有害だと感じた理由>

警察、保健所等で講習を受け、「薬物専門講師養成講座受講修了証」で薬物専門講師である為。

<取り組んだ事例>

当方がボランティアをしている民生委員・保護司会等で皆さんに知ってもらいました。

<行政や業界へ望むこと>

薬物等の発見後の報告がまったくない事に対して不安を感じます。

（愛知県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

大麻を吸った事のある青少年と会った。

<有害だと感じた理由>

より有害な薬物へ→体と人生の崩壊。

<取り組んだ事例>

薬物乱用防止のセミナー受講。地域の人々へ講習を実施。

<行政や業界へ望むこと>

薬物取締りの強化と法の厳格化、罰則強化。

（千葉県・男性・40代）

<有害情報を得たときの状況>

地方新聞、テレビで同じ県内で大麻栽培がたくさんされていたニュースを知った。

<有害だと感じた理由>

大麻は人間を壊してしまうから。

<取り組んだ事例>

ボランティア活動で、薬物乱用防止キャンペーンにて啓発活動をしています。

<行政や業界へ望むこと>

テレビ、ラジオ、新聞などで常に世間一般に向けて啓発活動をして欲しい。

（徳島県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

実母が内夫と逃走して自宅を不在した後は、シンナー吸入歴がある叔父が頻繁に少年宅に出入り、シンナーを少年にも吸入させたことが警察官に発覚し取調。保護観察官に勧められて少年も同意の上で更生保護施設に入所したにもかかわらず、無断で退所し暴力

団組員の内夫と逃亡生活を送る実母のもとで過ごす(実母も内縁夫も刑歴有、覚せい剤)。

<有害だと感じた理由>

更生保護施設も無断退所して、知人宅でシンナーを吸入するなどしており、少年自身にシンナー吸入を繰り返した大きな原因があり、依存性も相当進んでいる。

<取り組んだ事例>

適切な監督者の監護に服さない少年の傾向に照らすと、少年を現状のまま放置すれば、シンナー吸入や所持といった非行を反復するおそれがある。

<行政や業界へ望むこと>

非行に結びつく少年自身の問題点を自覚改善させて、有機溶剤や違法薬物と断絶するためには、矯正施設へと収容し、統制された場所において健全な価値観の定着へと導く必要がある。行政や業界へ、シンナー、覚せい剤などの取締の強行を希望(少年院に入所した)。

(福岡県・女性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

大麻の絵がプリントされたTシャツの販売がされているのではないかと地域の方から話がきた。

<有害だと感じた理由>

子ども達が絵柄をカッコいいと感じれば、薬物への興味を助長することになるのではないかとされる。

<取り組んだ事例>

地域の関係機関が集まる会議等で話し合う予定。

<行政や業界へ望むこと>

話を聞いたただけなので確認し、販売店に理解をして頂き、撤去をお願いしたい。

(鹿児島県・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

中学生が薬物(ディズニーのキャラクターの絵が書いてあり、あめ玉の包みのように見せてあるとか)(アルミホイルに包み吸うとか)の話をするのを聞いたことがあります。

<有害だと感じた理由>

身心の破壊。

<取り組んだ事例>

話を聞いた時に「なぜいけないのか」「自分の身を守ること」「人の身を守ること」薬物のこわさを伝える。

<行政や業界へ望むこと>

親、学校の教師などがしっかり子どもたちに向き合える時間が必要。

(兵庫県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

家庭訪問を行いながらのパトロールの時1軒の家で(たまり場)。

<有害だと感じた理由>

シンナーのにおいが強くしてきた。

<取り組んだ事例>

プロの指導者に知らせてお願いしました。

<行政や業界へ望むこと>

ある程度の結末は教えて欲しかった。

(茨城県・女性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

補導活動の為市内を巡回中に公園にて集団でシンナーを吸っていた為警察署へ通報した。

<有害だと感じた理由>

薬物の使用は青少年、大人双方とも決して許されない事だ。

<取り組んだ事例>

青少年の薬物使用の弊害を指導した。

<行政や業界へ望むこと>

警察官の巡回の強化。

(岐阜県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

薬物乱用防止中堅指導員研修会に参加(H20.10/22、23両日)東京にて、2日間の研修で薬物のこわさを身にしみて感じています。県の薬物指導員を8年ばかりやっていますが、テレビで毎日、薬物に関する放映をされると、自然と子ども達の目にも入ってきてしまいます。

<有害だと感じた理由>

子ども達の薬物が脳に与えるダメージは大きいもので有ること、極めてこわくなります。

<取り組んだ事例>

少年補導員の関係上、先生方との会合で話したことがあります。

<行政や業界へ望むこと>

やはり学校関係者、多くの方の参加が必要ではないかと。

(島根県・男性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

2010年が始まってすぐのテレビニュースで、近畿圏の中学生が、大麻等の薬物を所持していたことが2件報道された。

<有害だと感じた理由>

近年、芸能界での薬物常用者があとをたたない現状がついに未成年の中学生にまで及ん

でいる。身近の発達過程にある中学生の健康を蝕むことは、許されないことである。低年齢層に波及していくことは、大きな問題である。

<取り組んだ事例>

ガールスカウトでは、大阪府からの呼びかけで「ダメ、ゼッタイ！」運物の街頭キャンペーンに参加し、撲滅に取りくんだ。

<行政や業界へ望むこと>

具体的に行政、学校、地域、青少年団体が行動をおこすこと。

(大阪府・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

テレビで芸能人が多数吸っているのが分かったこと。

<有害だと感じた理由>

町中で簡単に手に入る。

<取り組んだ事例>

子どもたちにこわいものだと話した。

<行政や業界へ望むこと>

地域の大人と行政との密な関係。

(大阪府・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

アメリカ村の洋品店で、ジュースの中に薬物が入れられており、若い子が飲んで中毒になった。

<有害だと感じた理由>

ジュースだと信じて飲んだものに、薬物が混ぜられていたという点。

<取り組んだ事例>

学校に話し、注意を促した。

<行政や業界へ望むこと>

店の立ち入り検査や巡視をして欲しい。そういうものに手を出さないように中高生にアピールするように学校が取組む環境作りを要望します。薬物勉強会を開いて欲しい。

(大阪府・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

薬物依存症者家族の会の方からの情報。外国人が若者相手に薬物を販売している。ドロップのような飴玉で危険意識が生じにくい。

<有害だと感じた理由>

芸能人や大学生などの若者が薬物を使用していることが、多数報道されている中、簡単に手に入る環境が身近に存在することに危機を感じる。

<取り組んだ事例>

中学生を対象にした、薬物乱用防止講座の開催を市内中学校の生徒指導主事に伝えた。

年内に開催した学校もある。

<行政や業界へ望むこと>

当地域にも、薬物依存者のための社会復帰施設「ダルク」がある。運営費等、財政的に困窮していると聞く。行政等の支援をお願いしたい。

(愛知県・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

新聞、ニュース等で薬物汚染の情報。学生へのインタビューで薬物を手に入れようと思えば入手出来ると言う話を聞いてぞっとしました。

<有害だと感じた理由>

人生の夢や希望そして健康をも台無しにする薬物。害は本人はもちろん家族や友人の人生にも影響を及ぼします。

<取り組んだ事例>

学校に薬乱防止教室開催。その中で紙芝居等で薬物の怖さ（絶対にダメ！）を伝える。

<行政や業界へ望むこと>

薬乱防止教室で以前は薬物乱用防止広報車が各学校にも配車していただきましたが、現在大きい行事以外は活用出来ません。各校の先生、保護者も希望が多いです。フル活用出来るようにしていただきたいです。

(千葉県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

テレビなどで、有名人の薬物使用がとりあげられてきたが、衝撃的だった。

<有害だと感じた理由>

今まであこがれていたような人が、簡単に薬物を手にすることが出来ると、若い子どもたちも身近なものとして、軽く考えてしまうため。

<取り組んだ事例>

補導員の会議に参加したり、ビラくばりなどをした。

<行政や業界へ望むこと>

コマーシャルに、有名人を使いだめなものだめと、若い人に分からせて欲しい。

(宮城県・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

小中校生にまで広がっている内容を聞いた。中古車販売店で話が出ました。他県で活動をしている人等。

<有害だと感じた理由>

絶対にやってはならないものである事。法的にも犯罪である事。成長期の心身に即、影響が出るもの。知らぬ大人達の認識不足も有害である。

<取り組んだ事例>

関係機関へ連絡を取り、実体の把握を要望しました。麻薬Gメン（課長）に依頼し薬物

防止への勉強会を開催しました。

<行政や業界へ望むこと>

弁護士・スポーツ団体・芸能・TV業界へのモラル・責任への自覚。業界団体への社会的責任の確認と自覚への要請。教育（未成年への）を実施する事。

(千葉県・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

薬物汚染で、酒井法子に関する報道などが、薬物を使用しても、法的に悪いだけで、本人に身体的、精神的な障害、また廃人になる危険性が見えなかった。かえって同情を誘うような内容にみえた。

<有害だと感じた理由>

薬物でポロボロになった人の顔写真、体のやせぐあい、精神異状の映像などがなかったため、「薬物の害はほとんどなく、楽しいから皆使用するし、美人でいられる」と思わせ、薬物使用促進にしかならなかったろう。

<取り組んだ事例>

薬物業者は塾帰りの子どもに「疲れがとれる飲み物」を与えて引き込むということがあるため、機会があれば小学4年生に危険性と予防法を伝えている。

<行政や業界へ望むこと>

薬物の悲惨さを、映像で流すべき、具体的にまた症例の実例を見せて怖しさを理解させるべき。

(東京都・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

覚せい剤や大麻などの薬物の種類によって人体に与える影響や依存症が違うばかりか、成人、少年という年齢や体格、使用頻度によっても相違がある。

<有害だと感じた理由>

覚せい剤など乱用者の依存者のケースが多い。又使用方法などについても十分把握できる情報の提供を受けたいと思う。

<取り組んだ事例>

覚せい剤依存性、再使用の可能性が非常に高いことは認識しているが、見極めの判断が非常に難しいため家にお伺いして本人と会話したり家族との電話にて本人の様子を聞くことをしている。

<行政や業界へ望むこと>

大阪府麻薬覚せい剤対策本部や地元警察との支障のない程度で連携を密にして協力体制を築き乱用防止センターにおいて専門の方から講義など受けアドバイスをいただければと思う。

(大阪府・男性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

テレビや新聞等で知りました。警察のチラシや話で知りました。

<有害だと感じた理由>

その人の人生そのものも他人の人生も終わると思う。体はボロボロになり死に至ると思う。

<取り組んだ事例>

警察のボランティアとして、紙芝居等で危険だと言う事を訴えて小学校等を回っています。

<行政や業界へ望むこと>

警察等の薬害の公報車を各小学校、中学校へ常に出してもらい、実際に薬を見せて害を教えてあげて欲しい。

(千葉県・女性・60代)

<有害情報を得たときの状況>

新聞、テレビの報道で知った。有名人はもちろん一般の人でもお金さえ出せば、簡単に薬物を取得することができるのだと思った。

<有害だと感じた理由>

薬物がなければ通常生活ができなくなり、自分で切り開いて人生を歩んでいけなくなる。

<行政や業界へ望むこと>

厳しい取締りと、薬物の入手ルートを断ち切るようにして欲しい。

(大阪府・女性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

昨年不法大麻等で数件が検挙されその都度新聞、テレビ等で報道されたがインターネットや海外への旅行で種子を買入し国有地、市、私有地の山林やアパートのベランダで栽培していて見つかって検挙されていた。

<有害だと感じた理由>

青年（大学生以上）がほとんどであるが簡単に手に入る昨今だんだんと若年層に移行、伝染して行くことは目に見えている。今は都会・田舎の区別はまったくなくなっている。

<行政や業界へ望むこと>

罰則の強化は絶対に必要でありインターネットで簡単に手に入ることも問題である。

(石川県・男性・70歳以上)